

日本ヴィクトリア朝文化研究学会

第17回 全国大会

日時：2017年11月18日（土）10:00～18:00

場所：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス

G号館3階

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

阪急甲東園駅より阪急バス（1, 2番乗り場）で「関西学院前」下車（約5分）



St Cecilia by J. W. Waterhouse
(detail, 1895)

🍃 研究発表（10:00～12:25） ※ 第一発表（10:00～10:45） 第二発表（10:50～11:35） 第三発表（11:40～12:25）

第一室（307室） 司会：(1&2) 荻野 哉（大分県立芸術文化短期大学）/(3) 田中 孝信（大阪市立大学）

1. 眠りのイメージの象徴性
—J. W. ウォーターハウス《聖カエキリア》をめぐって 若名 咲香（筑波大学・院）
2. アイリッシュ・アーツ・アンド・クラフツ運動におけるステンドグラス芸術
—An Túr GloineとHarry Clarkeを中心に 高橋 優季（青山学院大学・兼）
3. 象徴としてのラスキン—労働者教育とアイデンティティの形成 横山 千晶（慶應義塾大学）

第二室（308室）

司会：金山 亮太（立命館大学）

1. 拒絶する／される人造美女—W. S. Gilbert, *Pygmalion and Galatea* (1871) に関する一考察
林 美里（日本女子大学・兼）
2. 後期ヴィクトリア朝の児童向け雑誌にみられるAlfred Tennyson受容
—*Girl's Own Paper*と*Boy's Own Paper*を中心に 鈴木 千枝（津田塾大学・院）
3. 19世紀英国と20世紀日本における『大君の都』の影響の一考 濱島 広大（筑波大学・院）

🍃 シンポジウム（301室、13:45～16:30）

南方熊楠から見たヴィクトリア朝—科学と神秘主義と文学 司会：大石 和欣（東京大学）

（生誕150周年記念）

パネリスト：田村 義也（成城大学・兼）

志村 真幸（京都外国語大学・兼）

小澤 央（明治大学）

コメンテータ：川島 昭夫（京都大学名誉教授）

🍃 ラウンドテーブル（307室、13:45～16:30）

ヴィクトリア朝後期の少女雑誌

—*Girl's Own Paper*をめぐって

司会・提題者：川端 有子（日本女子大学）

牟田 有紀子（早稲田大学）

🍃 特別講演（301室、16:40～17:40）

ヴィクトリア朝のウォーキング—登山、散策、文学

司会：金子 幸男（西南学院大学）

中島 俊郎（甲南大学）

🍃 総会（301室、17:45～18:00）

司会：佐藤 和哉（日本女子大学）

🍃 懇親会（18:00～20:00） 会場：関西学院会館「翼の間」

*会員以外の方の参加も歓迎いたします。（無料、ただし懇親会に参加される方は懇親会費をお支払い願います。）

日本ヴィクトリア朝文化研究学会

The Victorian Studies Society of Japan

<http://www.vssj.jp/>

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

日本女子大学文学部英文学科 佐藤和哉研究室内

Tel: 03-5981-3560/Fax: 03-5981-3549

E-mail: victorianstudies.japan@gmail.com